

## 編集後記

2007年の春もすさまじい忙しさの中で、各教員、各委員会、各センターについてのアニュアル・レポートがようやく完成しました。教員はそれぞれに専門分野が異なるため、慣例となっている書式が統一されておらず、毎年書き落とされてしまっている情報を収集するのに、教員に手を煩わせたり編集にも苦労を重ねています。来年度に向けては統一フォーマットにしようと思っていますが、長年思っているだけの状態に止まっているのが実状です。

2008年度は松本大学松商短大部、その次は松本大学総合経営学部が第三者評価を受ける予定になっています。この時にも、このアニュアル・レポートは威力を発揮することは間違いないと思われますが、通常期にはない多くの業務が重なってくることも予想されますので、次回（2007年度の1年間）のアニュアル・レポート作成には、てきぱきとした対応が求められそうです。

今年の4月には、人間健康学部（健康栄養学科・スポーツ健康学科）という、これまでに無い理系の新学部が出来ました。教職員数も増えていますので、大学全体のアクティビティもかなり上がってくると予想できます。このような状況の変化も考慮して、エクステンション機構内の研究部門の強化を図らなければいけなくなって来ているように思えます。これは今年度の一つの大きな課題でもあります。

今回（2006年度の1年間の活動）も総務課長・松田千寿子と副学長・住吉広行で編集を行いました。これに費やす時間があれば、俳句も何句か読めそう（松田）ですし、論文の一本も書けそう（住吉）なくらいです。忙しくなることは辛いのですが、一方では大学や短大が活性化していることの証でもありますから、喜びを味わいながら仕事をしていることも事実です。今年度も、何はともあれ無事発刊できました。この成果が、教職員間の横の連携を密にし、大学全体の活性化に役立つことを期待したいと思います。教職員みなさん、ご協力ありがとうございました。